



恵曇小だより

平成28年7月19日 No.4

松江市立恵曇小学校
校長 藤井 慎一

【校訓】 海の子 恵曇の子 つよく かしく

TEL 82-0065 FAX 82-0931 E-mail: etomo-e@city.matsue.ed.jp



夏本番です。教室は軒並み30℃越えです。

最近の朝の校長日課に、気温調べを追加しました。まだ7月なのに気温がうなぎのぼりです。不思議なことに恵曇小学校では一番暑いのが体育館。体育館は涼しいとの予想に反して気温も湿度も高いのです。熱中症対応のデジタル温度計は、朝から警戒の黄色ランプを点滅させています。先週（6日）のふれあい班活動の時には、嚴重警戒の赤ランプが点滅していました。

毎年異常気象が続く日本ですが、7月を無事乗り切るためには各教室にエアコンの設置が必要になってきているような気がします。一昔前なら子ども達の「なんで教室にエアコンがつかないの？」の声に、「エアコンをつけたら夏休みはいらなない!!」と冗談で答えていたのですが…。

教室棟では1階が一番暑く3階が涼しくなります。風通しの関係です。本日（11日）は4年教室が32℃と最高値を示しました。安来市では3年計画でエアコンの教室設置を目指しています。私たちが子どもの頃を思い出しても今のような暑さは記憶にありません。今年の夏は猛暑日（気温35℃以上）の日が何日あるのでしょうか。日本人が好きな【根性】だけでは乗り切れない暑さです。

地区懇談会（7/6～7）お世話になりました。

6日は手結と片句、7日は昭栄・古浦・恵曇と校長・教頭そしてPTAから6日は浦崎副会長さん、7日は青山会長さんと廻らせていただきました。改めて各地区集会所を見ると立派な建物です。10年前は廻ることに気をとられて、見逃していました。校長としての経験を積んだせいかもしれませんが、今回特にそう思いました。でも昔は各会場が保護者の皆様であふれていた記憶があります。ちょっと寂しい気持ちも湧いてきました。

恵曇の各地区懇談会の特色は、地区の行事についての連絡や協議が多いことだと思います。相撲大会・盆踊り・海水浴場の清掃などです。地域の大人の方との交わりがあります。地域で子ども達が育っているという実感がありました。

学校からは、休み中にくれぐれも大きな事故やケガ・病気などがないようにとのお願いとPTA奉仕作業の確認を行いました。奉仕作業は保護者が減った分大変になります。恵曇小学校は敷地が広いのでより一層です。親子活動のある学年もあります。8/30に恵曇っ子の笑顔が揃いますようによろしくお祈いします。【来て嬉し 終わって嬉し 夏休み】



昭 栄



古 浦



恵 曇



手 結



片 句

さわやかな汗をかい

鹿島町PTAスポーツ交歓会

七月二日（土）にニューウェーブで、右記の交歓会がありました。恵曇小代表として、二年生と五年生の保護者チームが参加し熱戦が繰り広げられました。

結果二年生チームは一勝一敗、五年生チームは二敗でした。結果は結果として、スポーツ交歓会はとても和やかな雰囲気で行われ、参加された方はさわやかな汗をかい、満足そうな顔でした。かつてPTAバレー大会が盛んな頃は、勝敗にこだわり応援席から審判に怒号が浴びせられることもありましたが、スポーツ交歓会が息の長い活動になっているのは、こんな雰囲気

に支えられているためだと私は考えました。中にはバレーの経験者もおられますが、ビーチバレーボールはなかなか思うように扱えません。またスパイクを本気で打つとアウトになりやすいのです。経験者もそうでない人も楽しめるよい種目だとも思いました。

私は同じ時刻に古浦海水浴場安全祈願祭があり、やや遅れて会場に入ったのですが、スムーズな進行で競技はあと一試合を残す状況でした。十二時にはきれいに解散することができました。

二年生・五年生チームの皆さん大変お疲れ様でした。来年は恵曇小学校PTAがこの町大会の世話役です。来年も校内・町内の交歓会ともがんばりましょう。



試合が終わって全員集合

防犯教室 6月28日

～地域の方に支えていただいで実施～

2校時が1～3年生、3校時が4～6年生と低学年・高学年に分けて防犯教室が行われました。警察から少年補導職員須佐さん・駐在の沖野さん・少年補導員の安達さん・坂本さん・平塚さん・和田さんを指導者としてお迎えしての実施です。

非行防止と不審者対応を毎年指導していただきますが、今年は非行防止が中心でした。非行防止の内容は【万引き】。それを劇に仕立て恵曇っ子に分かりやすく教えていただきます。また駐在の沖野さんがちょっと怖い感じで【万引き】も立派な犯罪であることや罰があることも説明されました。毎朝恵曇っ子に寄り添って学校まで送って来ていただく時のやさしい雰囲気ではありませんでした。高学年の劇では、低学年の劇の内容より程度を上げて【万引き】した品物をもらったらと言う内容が含まれていました。よく考えられた台本で、舞台もそれらしく準備してありました。教職員も低学年の部1名・高学年の部2名が参加して、恵曇っ子に強く印象付けるのに一役かいました。手作り感いっぱいの防犯教室でした。

読み語りで学校に来てくださる坂本さんも、今日はさっちゃんの名札をつけて登場。恵曇っ子は親しみを込めて、「さっちゃん、さっちゃん」と呼びます。あとで私に「子ども達からさっちゃんって呼んでもらって、新鮮な気持ちになれた。」と話してくださいました。警備会社もボランティアで、防犯教室を実施してくださいます。でも教頭がこの地域で支えてもらっている防犯教室を強く押す理由がよく分かりました。



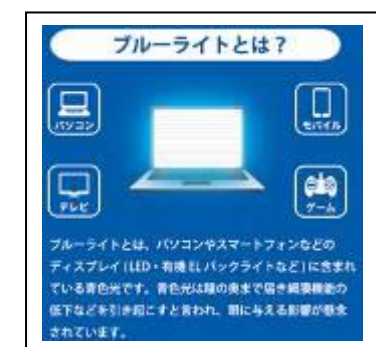
夏休みを前に…要注意!! 携帯・スマホ・携帯ゲーム

夏休みにお子様がゲーム漬けになることを心配されている保護者の方はいませんか？今朝の新聞（14 日）にあるスマホ向けのゲームの話が載っていました。その名は任天堂「ポケモン GO」。アメリカ・オーストラリア・ニュージーランドではすでに販売が始まり、日本でも早ければこの【学校日より】が配布される前に配信開始となっているかもしれません。

「ポケモン GO」をダウンロードしてゲームを開始します。このゲームは画面上で遊ぶのではなく、ゲームが指定した場所に行き出現したポケモン

（かわいいモンスター）を捕らえて集めるのです。ポケモンがいつ出現するか分からないので、スマホを見ながら歩き回ります。いわゆる「歩きスマホ」の助長になります。結果として、車や自転車との接触・私有地への不法侵入・厳粛であるべき場所（慰霊地）に捕獲目的で人が殺到するなどの問題がすでに発生しています。このゲームをしたいがために親にスマホ購入をせまる児童・生徒が出てきそうな気がします。

また最近話題になっているのが、携帯・スマホ・ゲーム・パソコンの画面から出ているブルーライトです。ブルーライトは刺激が強く、これを浴びていると眠気が吹っ飛んでしまいます。それによって起きるのが睡眠不足症候群です。睡眠時間は幼稚園児 10 時間・小学生 9 時間・中高生 8 時間・成人 7 時間は必要とされています。しかしブルーライトを浴びると自ら眠らない…睡眠不足症候群に陥ります。不眠症（寝ようと思って寝れない）より治療は難しいと言われていました。「勉強やストレスで眠くならないのだ。」と本人が病気とは思わないせいもあります。この症候群の病状はイライラ…たいした理由もないのにキレたり、ささいなことで目をつり上げて怒りだすのです。もっと恐ろしいのは乳幼児期からの夜更かしにより、脳の発達が遅れてしまうこと…自分の意思を他人に上手く伝えられず、ささいなことから不登校になる子などが例としてあげられます。先天的なものと違って『早寝・早起き・朝ごはん』の励行で改善できるようです。松江のコンビニでも夜遅く親に連れられて保育園児・幼稚園児とおぼしき子ども達、なかには赤ちゃん連れの夫婦を見かけることがあります。大丈夫かな？と思います。脳は部分的に育つべき時期があります。そのバランスが崩れてしまう…恐ろしいと思われませんか？



ゲームに関してもう 1 つ。レーティングという言葉をご存知ですか？ゲームにはレーティングという判定基準があります。暴力表現・性的表現・思想関連系表現・反社会的行為表現などで、ゲームを判定して A・B・C・D・Z ランクに分けてあります。A ランクは全年齢対象・B ランクは 12 才以上・C ランクは 15 才以上・D ランクは 17 才以上・Z ランクは 18 才以上がしてよいゲームとなります。つまり小学生は A ランク、6 年生で B ランクがいる程度なのです。

保護者の皆様は「バイオハザード」という映画をご存知だと思います。この映画から、シューティングゲーム「バイオハザード」が作られました。小学生でも楽しんでいるかもしれませんが、実はこのゲームは D ランク⇒小学生には不適なのです。銃やナイフでゾンビを倒すゲームですが、暴力表現や反社会的行為表現で D ランクとされています。子ども達のメディアの理解度（例えばドラマの登場人物が実在すると考える。コマーシャルの誇張表現を真実だと思う。）が低く、ゲームの内容を現実と誤認する恐れがあるためです。ゲームの箱には必ずレーティングは表示してあります。夏休みを前に一度確認をお願いします。

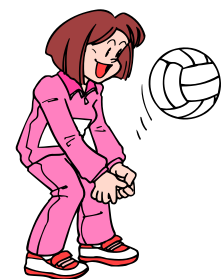


「ポケモン GO」画面



【校長雑感】 ああ夏休み 夏休み

まもなく夏休みが始まります。昭和 55 年に教員になった頃は小学校にも部活動があり、教員が指導していました。それから私は女子バレー部の指導を、約 20 年間続けました。その頃は、八束郡の小学校が強かったことを覚えています。（恵曇小も強豪校でした）夏休みの半分は、学校で部活がありました。華々しい戦績はありません。仲のよい女子バレー部を私は目指し指導していました。別に自分がバレー部経験者だったわけではないのですが、バレー自体は大好きだったので指導するのは苦ではありませんでした。むしろ喜んで…。



その頃出していた夏休みの宿題は、夏休みの友（懐かしい）・読書感想文・1 人 1 研究（理科）・日記でした。今とそう変わらないかも知れませんが、夏休みの友が学習のまとめ（スキル）に代わっています。手作りプリント集を作成する先生も。それと、昔に比べて絵のコンクールや作文コンクールの募集が増えました。恵曇小学校でも、募集を

まとめてプリントにして紹介していますがそれは精選されたものです。なぜ多くなったのか。一言でいうなら、「子どもの力に頼っている」と言えるでしょう。学校も地域や行政にお世話になっている面もあります。1 点でも 2 点でも、応募させたいコンクールも正直言ってあります。でも学校の都合で無理強いすることは避けたいと考えています。

7 月の全校集会の校長先生の話では、夏休みの理科「1 人 1 研究」（恵曇小では必ずの宿題ではありません）のヒントになればと思い、【実験 ペットボトルの水を全部出せ】を見せます。面白い素材を見つけ研究に取り組むか、根気よく変化を記録し考察するか、1 研究は大きく分けてこの 2 通りです。どちらにしても夏休みも終わりになって、さっと出来るものではありません。夏休みの初めに、宿題への対応をご家庭でもよ〜く話し合ってくださいと考えます。場合によっては担任や理科担当の教員への相談が必要となります。子ども達は夏休みと言っても、教員は研修や出張などで忙しく働いています。その際は、電話連絡をとってからにお願いします。

夏休みに恵曇っ子に望むこと。①健康で安全な夏休み ②後悔のない夏休み です。1 学期の学習の反省は学校でしています。特に系統的な積み上げが必要な算数は要注意です。

高学年は自分の力をしっかり見つめなおして、はっきりした努力目標を持たせてください。例えば【計算ドリル毎日 2 ページ】のように、そうすれば親のチェックもしやすくなります。低学年なら、毎日のスキルや計算ドリルから 2～3 問を別の紙に書いて、計算間違いがないか確かめてあげてください。『あなたを見ています』のサインを出し続けることが、低学年にとってはなによりの励ましになります。

地区の行事もたくさんあります。元気なあいさつができる恵曇っ子です。どんどん大人の輪の中に入って、恵曇っ子の元気を振りまいてと思います。元気余って、調子に乗り過ぎたり危険な事があったりしたら、地域の皆さん・保護者の皆さん、しっかり叱ってください。それが将来への投資になります。地域にはこわいおじさん・おばさんも必要です。

恵曇っ子にとっては、嬉しい嬉しい夏休み。保護者の皆様にとっては、【来て嬉し 終わって嬉し 夏休み】。恵曇っ子が様々な経験をして、いろいろ考えて、心も身体もよりつよく・やさしくなり、8 月 30 日の 2 学期始業式に全員元気でそろうことを心から願います。1 学期いろいろお世話になりました。

